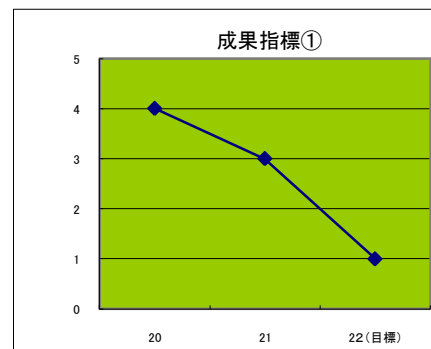
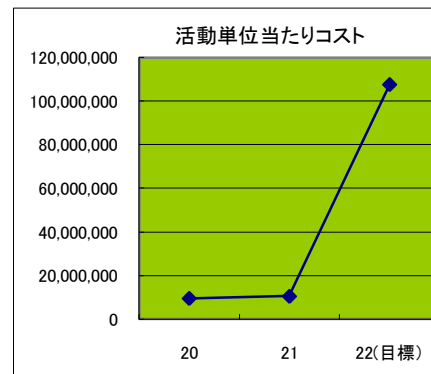


事務事業名		峰塚公園整備事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	8	土木費
					項	4	都市計画費
					目	3	公園費
					事業	54	峰塚公園整備
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち				
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化				
	施策の方向	(2)	特色と親しみのある公園づくりの促進				
関連する計画等				みどりの基本計画H12～H37			
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先			
	市民			072 - 958 - 1111 内線 2430			
	意図(どういう状態にしたいのか)						
羽曳野市の自然、歴史、文化を生かした緑の拠点を整備し、市民の憩いの場と防災上の避難場所を提供する。							
事業の内容	本公園は、羽曳野市の中央に位置し、全体面積5.3haで国指定史跡跡の古墳をランドマークとした「モニュメント」「古墳の丘」「文化イベント広場」「郷土の森」「管理施設」の5つのゾーンから構成されており、市事業で最大規模の公園として昭和62年度より整備を進めている。平成16年度より平成20年度までに「モニュメント」「文化イベント広場」「郷土の森」各ゾーンを整備し平成20年5月に開園しました。平成22年度「管理棟建設開設」し「古墳の丘ゾーン」は平成25年度の整備予定である。						
根拠法令等		都市計画法、都市公園法					
事業開始時期		☒ 昭和 62 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				終了年度	平成 25 年度
事業開始時からの状況変化		昭和62年事業当初は「モニュメントゾーン」0.35を整備し、その後も数度の事業認可延伸をへて、平成16年度より施設整備事業を開始し、「古墳の丘ゾーン」以外は開設いたしました。					
市民や議会の要望		開園後と施設、遊具などの安心、安全面への配慮、充実について要望が寄せられている。					
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他				委託内容 監理業務他	

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		31,347	11,488	91,145
人件費【2】 (千円)		7,035	20,160	16,380
職員数	正規職員	0.71 人	1.74 人	1.74 人
	再任用職員	0.00 人	1.80 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.95 人	1.85 人	1.85 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		38,382	31,648	107,525
財源内訳	国費 (千円)	9,000		30,000
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	29,382	31,648	77,525
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 公園整備工事件数	件	4	3	1
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		9,595,500 円	10,549,333 円	107,525,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		321 円	266 円	904 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	① 適正整備件数	件	峰塚公園を常に安心、安全に利用していただくための既存公園施設内の整備工事件数	目標 1	1	達成率(%)
	(式) 当初整備計画件数÷実施件数×100			実績 4	3	300.0%
	② (式)			目標		達成率(%)
				実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民が安心して集い憩える場となり、災害時等の避難場所としての防災機能も有する都市公園を整備することは市の責務である。
	○	○		○				○			

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	当市の公園面積は、大阪府下でも下位に位置しているため、防災面を含め様々な機能を有する大規模な公園整備への市民への期待は大きい。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	管理運営面や環境・安全面に配慮し、再生材の採用等の建設資材のコスト縮減、工法の見直しなどを行うとともに、施設の供用開始に遅延を生じさせないよう留意しながらすすめている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
簡略化できる方法や手段がない		☒	☐	☐		
市の他事業と重複していない		☒	☐	☐		
民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない		☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	総合基本計画の目標に基づき、やすらぎの場となる緑、防災上の避難地などの拠点となる公園の整備を進めることにより安心して安全な都市づくりが出来る。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐	良好な公園施設機能を維持するため、市民参画による効率的な管理運営の活用を考える。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☒	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☒	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	施設の整備はほぼ計画どおり進んでいる。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	公園面積が府下でも下位にあるため、当面、峰塚公園の開園後の安心、安全に向けての整備に取り組む必要がある。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
行 事 本 部 評 価	峰塚公園の整備を計画どおり進め、平成20年度開園しました。開園後の維持管理及び管理施設、公園使用等々について、効率的な運営方法並びに継続的な整備計画を検討する必要がある。	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	